

第2回 湖南省子ども・子育て未来会議（概要）

日時：令和元年10月9日（水）午前9時30分～

場所：湖南省共同福祉施設（サンライフ甲西）

■出席委員（湖南省子ども・子育て未来会議委員）（◎が会長、○が副会長）

池村委員、國重委員、平島委員、平井委員、勝井委員、白鳥委員、佐野委員、中島（扶）委員、
稲塚委員、中島（秀）委員、◎奥村委員、○野村委員、田畑委員、大黒委員、藪内委員

■会議次第

1. 開 会

2. 議 事

- 1) 子ども・子育て支援事業計画について 素案（第1～3章）【資料1・2】
- 2) 事業量の見込みと確保方策について 素案（第5章）【資料3】
- 3) 今後のスケジュールについて

3. 閉 会

■主な審議内容

議事1 主な質問や意見

意見①：P41で「地域コミュニティの活性化を推進」とあるが、P2では「地域におけるコミュニティの希薄化」、P32では「イベント等に参加していない子育て家庭がいる」となっているので、整合性が無いように思われる。

回答①：表現を検討する。

意見②：「教育保育の量の確保だけでなく質の確保も必要です」という表現があるのが、教育とか保育については量という捉え方が分からない。

回答②：国の指針に沿って計画策定をしているため、このような表現となっている。耳慣れない言葉であるので、趣旨を踏まえて注釈をつけるなど表現を検討したい。

意見③：湖南省の発達支援システムを中心とした取り組みを書いているが、この表記だけでは少し弱い。なぜ特別な支援をしていくのかというと、子どもに障害があってもなくても、あるいは特別な配慮が必要な子どもさんであってもなくても、共に遊んだり、共に学んだり、共に育つ、そういう環境を作っていくためにこういう支援システムがあるということ。地域で暮らす社会を作っていく、共生社会を目指しているということをしかりと明文化して、中に入れていただくとなお良い。

回答③：素案に反映する。

議事2 主な質問や意見

意見①：教育・保育の量の見込みと提供体制において、2号認定の中の「教育を希望」というのがわからない。

回答①：実際の支給認定と違い、ニーズ調査で働いているけれども幼稚園に行っている、教育の希望が強い方はこの計画上、2号認定の扱いで算出する。

意見②：「教育を希望」を「幼稚園を希望」に置き換えても良いのであればややこしくないと思うが。

回答②：可能か確認して検討する。

意見③：P23の「配慮が必要な児童が安心して過ごすことができる環境」というようあるが、分離の環境であれば意味がない。共に育つ環境でなければ意味がないので、この文章だけでは少し弱いと思う。学童保育は地域の子どもたちが過ごす、混ざり合うという方向で持って行かないと湖南省が今後目指しているところに行かないと思っている。おそらく加配など色々と工夫しておられると思う。そういう実態を示して欲しい。

回答③：発達に支援が必要な子どもで学童保育所を利用している児童は多くいる。支援の必要な状況に対して必要な指導員を配置してもらっている。混ざり合って過ごしていることについて表現を検討したい。